※令和４年度以降入学生用

学校番号	315

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	古典探究　古文編・漢文編　　（数研出版）						
副教材等	トータルサポート新国語便覧（大修館書店） 体系古典文法学習ノート三訂版（数研出版） 古文単語パレット 345（浜島書店） 1 日 1 講　文学・古典（三省堂） 体系古典文法九訂版（数研出版） 漢文学習必携三訂増補版（京都書房）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・漢文も含め、我が国の古典文学に対する関心を持ち、時代を経ても変わらないもの（文学の主題）時代や国の違いによって変わっていくもの（文法、句法や語句、時代背景）を理解しながら、古典の世界に親しみましょう。有名な作品の冒頭文や有名な詩歌は覚えていきましょう。
・古典文法（用言、助動詞、助詞、係り結び、敬語）を理解し、古語の語彙量を豊かにすることによって、作品世界の理解を深め、古文を的確に読み取れるようになりましょう。古文では、省略されている助詞や主語、目的語などを補いながら、敬語等に注意して、主語の変化に気を付け、文脈を正確に読み取れるようになりましょう。そして登場人物の気持ちが理解できるようになりましょう。
・漢文では、覚えるべき文字（再読文字、返読文字、置き字、漢文特有の語句など）や書き下し文のきまりをしっかり覚え、句法を覚えていきましょう。
・予習として、必ず本文を音読してきましょう。そのうえで、古文では、意味の分かりにくい箇所の品詞分解をし、わからない古語を辞書で確認して授業を受けましょう。漢文では、書き下し文を自分で作り、わからない語句を漢和辞典で調べて授業を受けましょう。授業の後には、自分のノートで訳を確認し、覚えるべき語句や文法、句法を復習しておきましょう。できるだけたくさんの文章を読みましょう。
・提出物の期限は守りましょう。あとから復習しやすいように、自分の力で授業中にノートを完成させていきましょう。定期考査は、学習計画を立てて、自分のノートでしっかり学習して臨んで下さい。授業中の小テストも、準備をしっかりして受けるようにしましょう。

2　学習の到達目標

・有名な作品の冒頭文や、有名な詩歌のフレーズや故事成語などは覚えて、「教養」として身についている。
・自分の人生をさらに豊かにするものとして、抵抗なく古文や漢文に親しむ姿勢がみられる。
・古文では、自力で品詞分解ができ、古語辞典を使って現代語訳がだいたいできる。
・漢文では、自力で書き下し文ができ、漢和辞典を使っておおよその訳ができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	「読むこと」の領域において，論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり，思いや考えを広げたり深めたりしながら，言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに，進んで古典に親しみ，言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	「大江山」はどのような教訓を示すために収録されていると考えられるか話し合う。 ［教材］十訓抄「大江山」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 c：積極的に説話が示す教訓性について考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物 レポート課題	ワークシート 振り返りシート レポート課題 授業態度
	編者が、忠見のあり方をどのように評価しているか説明する。 ［教材］沙石集「兼盛と忠見」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：忠見の歌にかける情熱を自ら進んで評価し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物 レポート課題	ワークシート 振り返りシート レポート課題 授業態度
	漢文の基本的な句形を学ぶ。本文で書かれた教訓的な内容を理解する。 ［教材］「漱石枕流」「画竜点睛」	a：時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解している。 b[読]：古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：本文で示された教訓の意味について、グループでの話し合いにおいて積極的に意見を発表している。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物 レポート課題	ワークシート 振り返りシート レポート課題 授業態度
	「春日野の……」の歌と「みちのくの……」の歌のそれぞれの歌について修辞法を確認し、類似点・相違点を考える。 ［教材］伊勢物語「初冠」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 c：「春日野の…」歌と「みちのくの…」歌を比較し、学習課題に沿って類似点・相違点を整理しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物 レポート課題	ワークシート 振り返りシート レポート課題 授業態度
	「男」が「をば」を捨てるに至った経過を整理し、その後再び迎えに行くまでの「男」の心情はどのようなものか、話し合う。 ［教材］大和物語「をばすて山」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 c：男の心情変化について粘り強く考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物 レポート課題	ワークシート 振り返りシート レポート課題 授業態度

※令和４年度以降入学生用

	現代語「すさまじい」の意味と、古語「すさまじ」意味の違いをまとめ、本文を鑑賞する。 ［教材］枕草子「すさまじきもの」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：「すさまじ」の意味変遷の歴史について進んで調べ、学習の見通しをもって本文理解を深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物 レポート課題	ワークシート 振り返りシート レポート課題 授業態度
	漢詩について押韻などのルールを学ぶ。 中国と日本の漢詩を読み比べる。 ［教材］「勧酒」「江南春」「梅花」	a：古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えている。 c：漢詩の創作に粘り強く取り組んでいる。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物 レポート課題	ワークシート 振り返りシート レポート課題 授業態度
二学期	「人知れずうち泣かれぬ」という作者の気持ちを説明する。 作者が『源氏物語』を読むことに没頭していることがわかる表現を抜き出し、そのときの気持ちを考える。 ［教材］更級日記「東路の道の果て」「物語」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：積極的に作者の心情をとらえ、学習の見通しをもって自分の考えを説明しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物 レポート課題	ワークシート 振り返りシート レポート課題 授業態度
	光源氏の誕生に際して人々の思惑、成長するにつれての人間関係などを読み取る。 ［教材］源氏物語「光源氏の誕生」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 c：登場人物の心情とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物 レポート課題	ワークシート 振り返りシート レポート課題 授業態度
	「鴻門の会」の読解を踏まえ、劉邦が鴻門から脱出することができた理由を考えて話し合う。 ［教材］史記「鴻門の会」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：本文から読みとった項羽や劉邦の人物像を踏まえて、作中の行動の経緯・理由を粘り強く考察し、主体性をもって話し合いに参加しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物 レポート課題	ワークシート 振り返りシート レポート課題 授業態度
	「無常」に対する作者の考えについて、説明する。 ［教材］方丈記「ゆく河の流れ」	a：古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って作者の考えを説明しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物 レポート課題	ワークシート 振り返りシート レポート課題 授業態度
	本文で述べられている「月の見所」「花の見所」をまとめる。 ［教材］徒然草「花は盛りに」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 c：粘り強く本文の内容を読み解き、学習の見通しをもって作者の考えを説明しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物 レポート課題	ワークシート 振り返りシート レポート課題 授業態度

※令和４年度以降入学生用

	花山天皇の出家はどのように行われたのか、道兼の行動に注意しながらまとめる。 ［教材］大鏡「花山天皇の出家」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：登場人物の行動とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、学習課題に沿ってまとめようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物 レポート課題	ワークシート 振り返りシート レポート課題 授業態度
	本文の流れをつかみ、いわゆる「昔話」的な面白さはどこにあるのか話し合う。 ［教材］「桃花源記」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 c：本文から読みとった人々の行動の経緯・理由を粘り強く考察し、主体性をもって話し合いに参加しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物 レポート課題	ワークシート 振り返りシート レポート課題 授業態度
	道長と伊周はそれぞれどのような人物として描かれているか、まとめる。 ［教材］大鏡「南院の競射」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 c：一語の解釈の違いで発言全体の真意がどう変わるか粘り強く考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物 レポート課題	ワークシート 振り返りシート レポート課題 授業態度
	作者は和歌をどのようなものととらえているか、その本質と効用に分けて整理する。 ［教材］古今和歌集仮名序「やまと歌は」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 c：学習課題に沿って、粘り強く鑑賞文の作成に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物 レポート課題	ワークシート 振り返りシート レポート課題 授業態度
	本文を読み、どういった思想との関連があるか話し合う。 ［教材］荘子「夢為胡蝶」	a：先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]：古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 c：文章から現代に通じる考え方を粘り強く見いだし、積極的に文章に表そうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物 レポート課題	ワークシート 振り返りシート レポート課題 授業態度

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　１０　）時間

・書くこと　…　（　４５　）時間

・読むこと　…　（　５０　）時間